

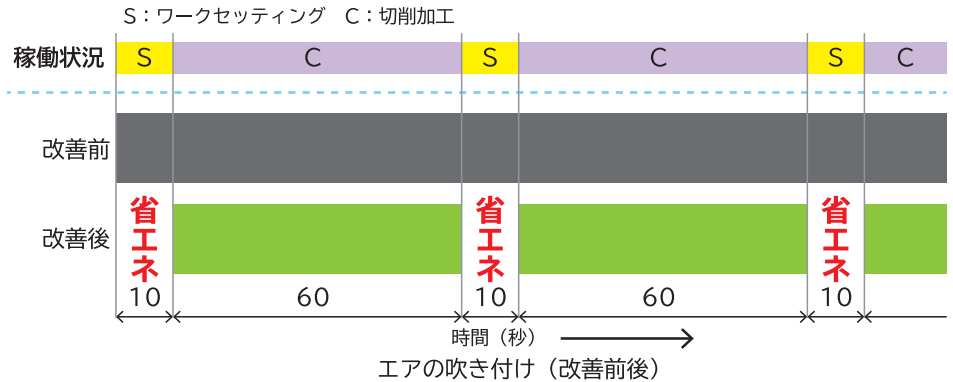


待機ロス削減によるムダの排除

必要な時に、必要な場所でのみエネルギーを使うのが、省エネの基本です。待機ロスは最優先で排除すべきムダといえます。

事例 生産工程上のムダに着眼した待機ロスの削減

使用電力量の46%を占めるコンプレッサに着目。アルミ部品加工機で、切粉除去のために常時行っていたエアの吹き付けを、ワークセッティング時（待機時）に停止することで、エアブロー量を削減しました。



13台の加工機で実施し、年間99万円のコスト削減につながりました。新たに設置した電磁弁とタイマーの費用は0.4年で回収しました。

日本ワキコ株式会社 東播工場 様 (兵庫県多可郡)

1926年にWICO式マグネットの輸入商社として創業。その後製造業へ展開し1985年に東播工場を設立。エンジン、コンプレッサ等の基幹部品であるコネクティングロッド等のアルミ部品を製造。

